

分析結果報告書〔9〕 1/5

2. 模擬大気試料（有害大気汚染物質）

文中の注釈は 5/5 にまとめて記載。

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得(複数回答可)	1. ISO 9001～9003 2. ISO/IEC 17025(ガバ25) 3. MLAP 4. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格 5. (上記1～4を取得していないが)品質マネジメントシステム(QMS)を構築している
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	()年
分析主担当者の実績 (年間の分析試料数)	()
分析(主)担当者以外の分析結果の確認	1. あり 2. なし

<VOC分析の経験等>

環境水・地下水・土壌等としての分析	1. 分析したことがある 2. 分析したことがない
有害大気汚染物質としての分析	1. 分析したことがある 2. 分析したことがない
有害大気モニタリング以外での大気VOC分析	1. 分析したことがある 2. 分析したことがない

<分析結果:詳細項目>

項目	測定回数	分析の実施 注1)	分析結果 (μg/m ³) 注2)	
			検出値	定量下限値未満だった場合: 定量下限値を記入
1,2-ジクロロエタン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
ベンゼン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
トルエン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
トリクロロエチレン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
ジクロロメタン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		

注 1) 分析を実施した場合には、「1. 実施」を選択し、「分析結果」を記入する。

注 2) 測定回数分の分析結果を記入する。JIS Z 8401 によって数値を丸めて有効数字 3 桁で報告する。

分析結果報告書〔9〕 2/5

<分析結果:参照項目>

項目	測定回数	分析の実施 注1)	分析結果 (μg/m ³) 注2)	
			検出値	定量下限値未満だった場合:定量下限値を記入
四塩化炭素	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
1,1,1-トリクロロエタン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
1,2-ジクロロプロパン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
1,1,2-トリクロロエタン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
テトラクロロエチレン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
塩化ビニルモノマー	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		
1,3-ブタジエン	1回目	1. 実施 2. 実施せず		
	2回目	1. 実施 2. 実施せず		
	3回目	1. 実施 2. 実施せず		
	4回目	1. 実施 2. 実施せず		
	5回目	1. 実施 2. 実施せず		

注 1) 分析を実施した場合には、「1. 実施」を選択し、「分析結果」を記入する。

注 2) 測定回数分の分析結果を記入する。JIS Z 8401 によって数値を丸めて有効数字 3 桁で報告する。

分析結果報告書〔9〕 3/5

<分析方法等>

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日
分析方法	容器採取-ガスクロマトグラフ質量分析方法
分析時の平均室温	()℃

<試料採取容器(キャニスター)の洗浄等>

キャニスターの型式	1. SUMMA 2. Scan 3. Silonite 4. その他()
キャニスター洗浄装置	1. GL サイエンス社製 CC2180 2. GL サイエンス社製 CC2180 以前のモデル 3. Entech 社製 3100D 4. Entech 社製 3100D 以前のモデル 5. その他()
キャニスター洗浄条件	平均の洗浄回数 1. 3 回以下、2. 4 回又は 5 回 3. 6 回以上()回
洗浄最終回の洗浄最終回までの減圧時の到達真空度	()Pa
加圧時の到達圧力	()kPa
キャニスターブランク試験	1. 実施している 2. 実施していない
減圧・加湿ゼロガス導入条件	1. 実施する 2. 実施しない(他の方法の概要) 1. 実施の場合:減圧時の圧力() 圧力の単位:1. psi 2. kPa 3. その他
GC/MS による確認 採取容器の減圧(最終の減圧)	1. 実施する 2. 実施しない 圧力() 圧力の単位:1. psi 2. kPa 3. その他()

(試料の濃縮)

キャニスターの準備	
受け取り時のキャニスターの圧力	()kPa
希釈操作 希釈倍率	1. 希釈しない(希釈倍率=1) 2. 圧希釈 3. その他の希釈() () 注3)
キャニスター濃縮装置	1. GL サイエンス社製 CC2100, 2. GL サイエンス社製 CC2110, 3. エンテック社製 7000, 4. エンテック社製 7100, 5. エンテック社製 7200, 6. テクマー社製 AutoCan, 7. その他()
試料量 注4)	()mL
除湿方式	1. モイスタイヤーコントロールシステム 2. マイクロパーミアントラップ 3. コールドトラップデハイドレーション 4. その他()
クライオフォーカス部の脱着温度	設定温度()℃ 実測温度()℃
パージガス	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他()

注3) 希釈しない場合には、「希釈倍率=1」と記入する。

注4) 希釈した場合は、希釈した試料をベースに使用量を記入する。

<GC/MS>

GC 型式 注5)	島津[1. GC-17, 2. QP 2010シリーズ, 3. QP-2020シリーズ] アジレント[6. 6890シリーズ, 7. 7820シリーズ, 8. 7890シリーズ, 9. 7039] バリアン[10. Saturn 2200] サーモフィッシャー[11.Traceシリーズ, 12. Focusシリーズ] パーキンエルマー[13. Clarusシリーズ, 14. Autosystem XL] ブルカー [15. 436, 19. 456] 16.その他 製造メーカー()][GC名()]
MS 型式 注5)	島津[1. QP2010シリーズ, 2. QP2020シリーズ, 3. QP5050シリーズ, 4. TQ8040, 5. TQ 8050] アジレント[6. 220シリーズ, 7. 5973シリーズ, 8. 5975シリーズ, 9. 5977シリーズ, 10. 6890シリーズ] バリアン[11. Saturn] サーモフィッシャー[12. ISQシリーズ, 13. Polaris Q, 14. DSQII] パーキンエルマー[15. SQシリーズ] 日本電子[16. JMS-K9, 17. JMS-Q1000, 18. JMS-Q1050, 19. JMS-Q1500] 20. その他 業者名()][MS名()]
装置型式	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. タンデム(MS/MS) 6. その他 製造メーカー()][GC名()]
イオン検出法	1. SIM法 2. マスクロマトグラム法 3. SRM(MRM) 4. その他()
カラム 型式	1. Aquatic 1, 2. Aquatic 2, 3. DB624, 4. RTX 624, 5. HP VOC, 6. DB MTDB, 7. DB 502.2, 8. DB5.625, 9. DB-1, 10. DB-5, 11. VOCOL 3.その他()
内径	()mm
長さ	()m
膜厚	()μm
昇温条件 初期	温度()℃ 温度保持()分
1回目の昇温	速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分
2回目の昇温	速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分
3回目の昇温	速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分
4回目の昇温	速度()℃/分 到達温度()℃ 温度保持()分

(5回以上の昇温の場合) 昇温回数	速度()°C/分 到達温度()°C 温度保持()分 ()回
キャリアーガス条件 種類 制御モード 流量 注6) 圧力 注6)	1.窒素 2.ヘリウム 3.その他() 1. 流量(線速度)一定モード 2. 圧力一定モード ()単位:1. mL/分 2. cm/秒 ()単位:1. psi 2.kPa 3.その他

注 5) GCMSとして機器名がついている場合(例えば QP2020)、GC 及び MS のいずれの該当部分も選択する。

注 6) 流量又は圧力を記入する。

分析結果報告書〔9〕 4/5

<定量用質量数及び確認用質量数>

項目	定量用質量数	確認用質量数
1,2-ジクロロエタン		
ベンゼン		
トルエン		
トリクロロエチレン		
ジクロロメタン		

<標準ガス>

調製方法	1. 容量比混合 2. 圧希釈 3. 流量比混合 4. 容量比混合と圧希釈 5. 流量比混合と圧希釈
標準原ガス 区分	1.購入 2.自作
購入:メーカー名	1.大陽日酸(株) 2.高千穂化学工業(株) 3.住友精化(株) 4. その他()
標準原ガス	
購入(又は調製)後の経過月 ()ヶ月	
標準ガス	
調製から経過月	1. 使用時調製 2. 調製後1か月未満 3. 調製後1か月以上

<内標準ガス>

内標準原ガス 区分	1.購入 2.自作
購入:メーカー名	1.大陽日酸(株) 2.高千穂化学工業(株) 3.住友精化(株) 4. その他()
標準原ガス	
購入(又は調製)後の経過月 ()ヶ月	
標準ガス	
調製から経過月 ()ヶ月	

<検出下限>

検出下限値及び定量下限値の算出方法:有害大気汚染物質測定マニュアル(平成23年3月)による

1,2-ジクロロエタン	検出下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
	定量下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ベンゼン	検出下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
	定量下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
トルエン	検出下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
	定量下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
トリクロロエチレン	検出下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
	定量下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ジクロロメタン	検出下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$
	定量下限値	() $\mu\text{g}/\text{m}^3$

分析結果報告書〔9〕 5/5

<検量線の作成等>

項目	区分	記入欄
定量方法 内標準法:内標準物質の種類 内標準法:内標準物質の添加量		1.絶対検量線法 2.標準添加法 3.内標準法 4.その他() 1.トルエン-d8 2.フルオロベンゼン 3.クロロベンゼン-d5 4.その他() 濃度()pptv×濃縮量()mL
1,2-ジクロロエタン	標準ガス濃度レベル 濃縮量を変えて設けた検量点数 検量線調製濃度範囲 最小濃度指示値(平均) 最大濃度指示値(平均)	()点 ()点 作成範囲:最小()pptv～ 最大()pptv () ()
	試料 注7)	指示値 1回目() 2回目() 3回目() 4回目() 5回目()
	空試験	指示値()
ベンゼン	標準ガス濃度レベル 濃縮量を変えて設けた検量点数 検量線調製濃度範囲 最小濃度指示値(平均) 最大濃度指示値(平均)	()点 ()点 作成範囲:最小()pptv～ 最大()pptv () ()
	試料 注7)	指示値 1回目() 2回目() 3回目() 4回目() 5回目()
	空試験	指示値()
トルエン	標準ガス濃度レベル 濃縮量を変えて設けた検量点数 検量線調製濃度範囲 最小濃度指示値(平均) 最大濃度指示値(平均)	()点 ()点 作成範囲:最小()pptv～ 最大()pptv () ()
	試料 注7)	指示値 1回目() 2回目() 3回目() 4回目() 5回目()
	空試験	指示値()
トリクロロエチレン	標準ガス濃度レベル 濃縮量を変えて設けた検量点数 検量線調製濃度範囲 最小濃度指示値(平均) 最大濃度指示値(平均)	()点 ()点 作成範囲:最小()pptv～ 最大()pptv () ()
	試料 注7)	指示値 1回目() 2回目() 3回目() 4回目() 5回目()
	空試験	指示値()
ジクロロメタン	標準ガス濃度レベル 濃縮量を変えて設けた検量点数 検量線調製濃度範囲 最小濃度指示値(平均) 最大濃度指示値(平均)	()点 ()点 作成範囲:最小()pptv～ 最大()pptv () ()
	試料 注7)	指示値 1回目() 2回目() 3回目() 4回目() 5回目()
	空試験	指示値()

	試料 注 7)	指示値 1回目() 2回目() 3回目() 4回目() 5回目()
	空試験	指示値()

注 7) 測定回数分の値を記入する。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--